



先輩講話

令和元年 5 月 9 日(木)

今回は令和最初の先輩講話の講師として、小寺輝（おでらひかる）さんをお招きしました。小寺さんは地元の大宝小学校，東部中学校出身で本校を 2011 年（平成 23 年）3 月に卒業しており，第 110 回卒業生となります。高校時代は成績優秀で常に学年最上位の成績を上げるとともに，3 年間野球部に所属し，4 番打者・一塁手として活躍したという，文武不岐を体現している生徒でした。その後，東北大学医学部に現役で合格し，2017 年卒業と同時に千葉県の船橋市立医療センターに勤務，今年の 4 月からは東京医科歯科大学救急救命センターに勤務しています。

小寺さんは，今までの先輩講話の中で最も若い講師だと思います。現在，部活動に励みながら大学受験や将来の職業について悩んで人も多いと思います。そこで，10 年後の自分をイメージして，将来の進路を考えるきっかけを掴んで欲しいという趣旨で小寺さんに講師をお願いしました。

講演では，高校時代の生活を中心に大学生活や研修医としての現在の勤務について要点を押さえた親しみやすい語り口で話してくれました。特に高校時代，野球部顧問の本田先生から受けた「人としてきちんと生きる大切さ」を教えられたこと，担任の中田先生が「好きな野球だけやって他を疎かにしたら，野球に対しても失礼じゃないか」と諭してくれたことで取組が変わったことなど，具体的なエピソードを披露してくれました。小寺さんは，高い学習能力に加えて，素直な心で物事に向き合える性格を持っていたからこそ，高い目標に到達できるのだと感じました。

また，「失敗しないということはない，失敗から学び，失敗しないためにどうすれば良いかを考える事が大切」だとも話してくれました。これから更に医師としての腕を磨いて医療に貢献してくれることを確信させる講演でした。生徒達の心にも響く内容だったと思います。小寺さんの益々の活躍を期待します。ありがとうございました。

